

事業実績書

| | | |
|---------|---|---|
| 事業名 | 「命のビザ」杉原千畝夫妻の顕彰活動 | |
| 場所 | 沼津市千本プラザ 他 | |
| 期間 | 令和2年4月2日 ~令和2年12月25日 | |
| | 日程 | 実施項目・作業項目 |
| 事業内容 | | <p>※ 実施内容、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、スケジュールも併せてわかりやすく記載してください。 イベントや研修会等の行事日程だけでなく、事業期間すべてにわたる実施内容を記入してください。(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会など)</p> <p>実行委員会 午後2時より</p> <p>7月25日(土)、8月29日(土)、9月26日(土)、10月24日(土)</p> <p>場所:長興寺(沼津市大塚) 参加者:10~15名</p> <p>11月3日(文化の日)午後6時より</p> <p>杉原千畝記念講演会</p> <p>会場:千本プラザ・音楽ホール 入場料 無料</p> <p>講師:前駐リトアニア特命全権大使 重枝豊英氏</p> <p>演題:杉原千畝とリトアニア 参加者:150名(一般)</p> <p>11月29日(日)午後2時より</p> <p>一人芝居「6千人の命のビザ」 入場料@1000円</p> <p>会場:千本プラザ・音楽ホール</p> <p>公演:ポカラの会(名古屋市) 参加者:180名(一般)</p> |
| | 事業効果 | <p>※ 事業計画書において設定した、成果指標に対する実績値を、具体的な数値を用いて記載してください。</p> <p>新型コロナの流行の影響を受けて、開催直前まで会場側から定員の半数100名の制約があったが、幸い11月1日より200までと緩和された。その結果、募集活動が十分にできなかったものの、努力の結果、11月3日は150名参加、11月29日は180名の参加者を得て開催できた。</p> <p>杉原千畝夫妻の偉業とともに、二人の葛藤と苦悩、当時のヨーロッパ情勢についての認識を深めることが出来たという感想をいただいた。</p> |
| 自己評価 | <p>※ 上記事業効果を踏まえて、事業の自己評価をしてください。</p> <p>① 杉原千畝の決断を支えた幸子夫人が沼津出身であることを知ってもらい、沼津の誇りであるということを感じていただき、今後の顕彰活動の展開へとつなげることが出来た。</p> <p>② お二人の偉業の根底にある、人間愛、人道博愛の精神について理解し、顕彰活動を通して後世に伝えていく必要性を再認識した。</p> | |
| 今後の活動予定 | <p>※ ファンドを利用予定・自己資金で活動・事業の見直し等、今後の展開について記載してください。</p> <p>※ 令和2年度の成果を踏まえて、今後とも顕彰活動を継続していきたい。</p> <p>※ 令和3年度も「まちづくりファンド」の支援を受けて次のような企画をしたい。</p> <p>※ 令和3年11月14日(日)、命のビザの集い(仮称) 顕彰碑前(港口公園)</p> <p>※ 令和3年11月27日(土)、命のビザ講演会 沼津文化センター小ホール</p> <p>※ 講師:川村 秀(すぐる)、北出 明(きたで・あきら)</p> | |